

平和と登山のページ (2018年2月)

平和と登山委員会 文責：大西清見 (泉州勤労者山岳会)

第42 戦跡ハイキング 沖縄、登山と戦跡を訪ねて

1月13日(土)～16日(火)、大阪労山(平和と登山委員会主催)で沖縄に行ってきました。天候は概ね晴れ、気温が23℃の時もあって、八重岳山麓ではピンク色の緋寒桜が咲き始めていました。

二日目(14日)は糸数アブチラガマ、ガンガラーの谷、平和祈念公園、ひめゆりの塔、不屈館(瀬永亀次郎民衆資料館)と歩き、沖縄戦の頃の悲惨な戦況や戦後の沖縄民衆のたたかいなどを学習することができました。アブチラガマは全長270mの自然洞窟、沖縄戦時に約600名の負傷兵が運び込まれましたが、米軍の攻撃の的となり多くの命が失われることになりました。ガンガラーの谷は、南城市にあり2008年から公開され、今では超人気の沖縄の見所です。巨大な鍾乳洞が崩壊してできた谷間に広がる自然豊かな森の中を専門ガイドと一緒に歩くツアーです。森の覇者、大主ガジュマルと今も発掘調査が行われている2万年前の港川人の居住跡が好評でした。平和祈念公園、ひめゆりの塔は東京の高校生の修学旅行生たちでいっぱい、依然として本土からの平和学習の旅も多いようです。

三日目(15日)は嘉津宇岳(452m)、デーサンダームイ(230m)の登山に。沖縄の山は低山ですが、山頂は隆起サンゴ礁の岩峰で眺望抜群の人気山です。嘉津宇岳から北方の本部半島や伊江島の絶景をみんなですべて眺めていました。帰りに寄った辺野古、この日だけでもダンプカー150台もの護岸工事用の土砂が運ばれているとか。全力で新基地反対の行動をされている方々にお会いし、私たちももっと真剣に沖縄の基地問題を考えていかなければと思いました。

実は15日の午後、私たちは登山のあと名護市長選で頑張っておられた稲嶺進選挙事務所へ行って激励に行ったのです。後日、名護市長選は残念な結果になりました。しかし、私には2月5日の「毎日新聞」夕刊に下記の記事が掲載され、稲嶺さんの本当の人物が伝わってきました。15日に稲嶺事務所でお会いした時も「沖縄のことを真剣に考えておられる」、とても爽やかな印象でした。選挙のあとも、こんな生き方をしたいですね。

新聞記事…一夜明けた5日、稲嶺さんは市内の小学校の通学路に立ち、日課としている子どもたちの登校の見守りに参加した。子どもたちと笑顔でハイタッチしたあと、報道陣を前に沈痛な表情でかたった。「海をつぶし、基地が来ると、今学校に来るような子どもたちが被害を受けることになる」

市長になる前も、市長の時も…このような日課があったのです。今回の市長選では負けましたが、これからの沖縄を前向きに真剣に考え応援していきたいと思いました。また、来年にも自然の豊かな、暖かい人たちがおられる沖縄へ行ってみたくとも決意したのでした。(大西清見)

《参加者》こもれび(井手上・横川・辻野)、吹田(徳野・中筋・小林)、きたろう(園・石野)、ピトン(菅野)、バッカス(稲岡)、泉州(大西) 計11名

以下、参加者の感想です。

小林佐智子（吹田）

お天気に恵まれ、ご一緒して下さった方々にも恵まれ、二日間とっても楽しく感動、感激です。糸数アブチラガマは想像を絶するものでした。準備して頂いた資料を読んでおりましたので、説明を聞き涙が止まりませんでした。登山も展望が良く思ったより登れました。カルストも緊張が途切れない短い時間で、嬉しかったですね。ススキと桜と一緒に見る事ができ、二度とない貴重な体験ができました。戦争はダメ…大きな声で話をしましょ。皆様大変お世話になり、ありがとうございました。

菅野昭雄（ピトン）

【糸数アブチラガマ】初めての沖縄…初めて見るガマ…予備知識を全く持たないでガイドの方から当時の状況を聞いた。暗いごつごつとした床面での寝食や看護、女学生がそれに従事するなど、戦争がなければ失うこともなかった命の重み、躯が深い縦穴に放り込まれたとの話、爆風でガマの天井に張り付いたトタン板は衝撃的だった。捨石作戦に動員された民間人…基地に悩まされる沖縄県民の状況にまだ戦後ではないということを実感した。

辻野晴子（こもれび）

数十万年までは鍾乳洞、それが崩れてできた"ガンガラーの谷"…そこは豊かな植生と、18000年前にこの港川の地域に生活していたと思われる"港川人"が発掘された太古の世界だった。1時間20分のワクワクドキドキの"心はすっかり港川人"の行程を経て、目映いばかりの沖縄の太陽を浴びながら現実の世界へ…フーッと長いため息が出た。

井手上春江（こもれび）

大変お世話になり、有難うございました。美しい南の島が基地の島になり、観光一筋になってしまった事、残念に思います。拙い感想文ですが、送らせてもらいます。沖縄といえば、首里城とひめゆりの塔が思い浮かぶ程有名でした。映画化もされ、充分知っている積りでした。けれど映画を見て涙を流しても、それは過去の出来事に過ぎない、と元の自分に戻ってゆく。だが、沖縄に来て基地を見ると、戦場こそ見えないもののまだ終わっていないじゃないか、基地がある限り、その時の惨状がそのまま蘇ってくる。完全な南の楽園沖縄の島を取り戻さなければならない、と強く思います。



1月14日、糸数アブチラガマ
南城市玉城総合案内センター前にて



15日、八重岳山麓には緋寒桜が咲き
はじめていました

中筋好子（吹田）

不屈館は、港に近いこじんまりとした建物でした。館内の壁には、瀬長亀次郎に関する記事や言葉の数々が貼られてあり、夫妻の戦いの記録映画が上映されていました。沖縄に来る前に、「標的の島」を観たのですが、続いて上映された「米軍が最も恐れた男 カメジロー」を見損ねていたもので、亀次郎と米軍との戦いの概略を知ることができました。2度の投獄にも米軍による市長の座からの追放にも負けず、83歳まで県民と共に歩まれた「不屈の人」でした。現在、辺野古で高江ヘリパッド建設に対する抗議活動中に逮捕され、公判中で、152日にわたり拘束された平和運動センター長の山城博治氏（外2名の方々）の判決が3月14日にあります。瀬長亀次郎の意志を引き継ぎ戦っている辺野古の反対運動に関心を持ち、山城博治さんの裁判を注視する事が県外の私達にできる支援の一つではないでしょうか。

横川ひろ子（こもれび）

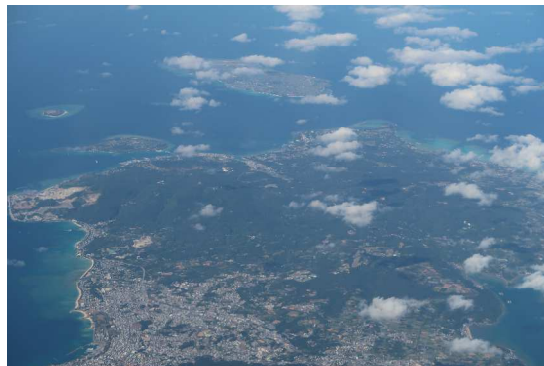
沖縄本島第3位名護市北西部452m 嘉津宇岳、どんな山なのか楽しみに11人で歩を進める。1時間コースなので、ハイキングのつもりが、カルスト山容の石灰岩がボコボコと、心地よく歩ける山道もあり、森の中は、サンキライ、ムサシアブミ、沖縄特産のヒラミレモン（シークアーサー）、野鳥が種を運んだのだろう。山は我々を受け入れ、石灰岩の山頂へ登り切る。360度の展望は、見渡す限り、青い空に、青い海、緑の大自然に包まれ、全員の笑顔に満足感が漂う。何組もの外国人登山者に出会うのも、親しまれてる証の嘉津宇岳でした。初参加の戦跡ハイクに、大西様を始め、皆様との交流に和気あいあいと楽しませて頂き感謝しております。

稲岡哲也（バッカス）

デーサンダームイは沖縄美ら海水族館近くの円錐カルストが立ち並ぶ沖縄海岸国定公園にあり、2億年前にサンゴ礁が隆起して固まった岩山。これまで訪れた関西の山々はもちろん、日本アルプスの山々とも全く異なる岩肌を持つ。駐車場から続く遊歩道からはずれ、急な登り坂を5分ほど登ると山頂に到着。山頂は鋭い石灰岩でおおわれており、座る場所にも気を使うほど。標高230mと低い山にも関わらず、360度広がる展望は素晴らしく、特にエメラルドグリーンの海と沖に見える伊江島は絶景の一言。沖縄まで来たかいがありました。



1月15日、デーサンダームイ（230m）



16日、帰りのJTAより本部半島を撮影、中央の森が嘉津宇岳、手前が名護市街

石野明子（きたろう）

青い海・南国の沖縄の基地の痛みを少し感じることできた有意義な旅でした。1月15日、登山をしたあと辺野古の米軍キャンプを見に行きました。ゲート前には「基地のない未来をつくろう」と書かれたプラカードを掲げ、スタンディングする人10数名、「税金を使って建設するのを止めなさい」とマイクで叫び続ける男性をみて、身体が震える思いをしました。150~200台ものダンプトラックが出入りして、砂ぼこり、排気ガスの中、支援者の健康が気になります。20年も反対運動をして建設は大幅に遅れている、もうちょっとですと胸をはって活動されている人たちに頭が下がりました。

園敏雄（きたろう） 稲嶺ススム選挙事務所を訪ね激励する

沖縄戦跡ハイク2日目に訪ねた、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔、平和祈念公園など、日本で唯一戦場となった沖縄の悲惨さや、多くの住民が犠牲になった現場を目のあたりにし、ガイドの方から学び、胸が痛んだ。また戦後の占領時代に祖国復帰と平和な社会の実現を目指して命がけで闘った瀬永亀次郎さんの資料を収めた不屈館を見学して平和であることの大切さを実感し、今沖縄で平和の闘いの前線に立っている、稲嶺ススム名護市長に応援の選挙カンパを参加者に募ったところ快く受けて下さった。3日目、嘉津宇岳、デーサンダームイの2山を登り終えた後、選挙事務所を訪ね事務所関係者にカンパを届けに来たと伝えた所、NHKの取材を終えた稲嶺市長が顔を出して下さりこちらが感激、挨拶と沖縄訪問の趣旨を説明し、私も富士山に登りましたよ、など気さくに話して下さった。勝利のため頑張ってくださいと声をかけ退出、次の訪問地キャンプシュワブゲート前へ向かう。ここでは平和で平穏な沖縄を願い、辺野古新基地建設反対の運動を続けている皆さんを訪問、防衛局、機動隊と正面から闘っている姿に接し胸が熱くなり、共に声を上げ防衛局の姿勢に抗議した。

《第43回戦跡ハイキング&蝙蝠山登山、山菜摘み体験》

春の戦跡ハイキング&蝙蝠山登山と山菜摘み体験のご案内です。今回も京都府北部の丹後地方へ出かけたいと考えています。日程は次の通りです。

4月14日（土） 大阪（マイカー）－舞鶴引揚記念館（ユネスコ記憶遺産）－蝙蝠山（310m、伊根町、丹後半島最北東端に位置し若狭湾への眺望抜群）－筒川文化センター（京都府伊根町、筒川小学校跡を改装、素泊まり：3,000円、自炊）で宿泊・交流

4月15日（日） 伊根町筒川で山菜摘み体験（地区協力費・昼食費で2,000円）、ごごみ・山蔞・花ワサビがたくさん収穫できます。道端にはイチリンソウやイカリソウなどの花も鑑賞できます。

－与謝野町・かやの里温泉－帰阪

参加費：約11,000円（山菜摘み体験費含む）

募集人員：12名（内、兵庫県連4名）

*定員は山菜摘み体験の人数制限があるため12名とさせていただきます。